

**安心・安全・快適に利用してもらうために。**

**名古屋都市圏に必要な交通網を**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学で都市建設や土木分野を学ぶ→高速道路を建設・管理する企業に就職→保全企画を担当

**浅井亮磨** さん(1999年生まれ)

**名古屋大谷高校** 出身

**中部大学** 工学部都市建設工学科卒業

**名古屋高速道路公社**

名古屋市北区清水4-17-30

<https://www.nagoya-expressway.or.jp/>

「構造物の模型を作ることが好きだったのです。セントラルタワー、ミッドランドスクエアなど、実際の建築物をよく作っていました。撮影した街の写真をもとに縮尺を考えいろいろな模型を作成するなかで、次第に興味が建築物からまちづくりへと移っていました。商業施設や住宅など、街並みを構成している風景を見て、ひとつの建築物よりも街全体に関わる仕事がしたいと思うようになりました。高校卒業後は、中部大学都市建設工学科に進学しました」

「大学時代について教えてください。」  
「交通工学、まちづくり工学から構造力学、水理学まで幅広く都市建設について学びました。なかでも印象に残っているのが、まちづくり工学です。衰退している商店街の活性化プロジェクトに参加したこと、とてもいい経験になりました。大学卒業後は、名古屋高速道路公社に就職しました。街が機能するうえで最初に必要な基盤が道路。まちづくりを学ぶなかで円滑な交通網を整備する仕事に興味がわき、名古屋高速道路公社で働きたいと思うようになりました」

「仕事をについて  
——やりがい

「事件事故がなく、1日の仕事が何事もなく終わることがやりがいですね。お客様に安心・安全・快適に過ごしていただけることには誇りを感じます。今後、新規のインター・路線を作る計画があるので、その設計業務に携わることが目標です」

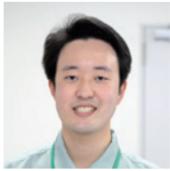
「構造物の模型を作ることが好きだったので、セントラルタワー、ミッドランドスクエアなど、実際の建築物をよく作っていました。撮影した街の写真をもとに縮尺を考えいろいろな模型を作成するなかで、次第に興味が建築物からまちづくりへと移っていました。商業施設や住宅など、街並みを構成している風景を見て、ひとつの建築物よりも街全体に関わる仕事がしたいと思うようになりました。高校卒業後は、中部大学都市建設工学科に進学しました」

「名古屋都市圏に必要な交通網を安全・快適に利用していただくため、高速道路の劣化状況を診断しています。簡単に言うと、高速道路の構造物がどこでどの程度損傷や劣化している箇所を一つ一つ確認し、何年以内に対処が必要なのか、すぐに対処が必要な緊急性を判断します。点検情報をもとに損傷や劣化している箇所を一つ一つ確認し、何年以内に対処が必要なのか、すぐに対処が必要な緊急性を判断します。」

「チームワークです。同じ箇所を診断しても、人によって劣化メカニズムの偏りがあつたりするので、チーム内での劣化状況の意見交換をして適切な判断ができるよう心がけています」

「必須となる資格はありませんが、基礎的な土木分野の知識が必要なので、大学に進学して専門的な勉強をするのが一般的ですね。私は大学生のときに名古屋高速道路のインターンに参加しました。とてもいい経験ができたので、興味のある学生はインターンに参加することもおすすめです。高校時代は、自分がどういった分野に進みたいのかを明確にできるよう、いろいろなことに挑戦してみてください。あきらめずに何事も繰り返して覚えたり、挑戦していく姿勢が大切だと思いますよ」

「ありがとうございました。」



**18歳** 建築物からまちづくりに興味が移り、大学では都市建設について学ぶ。

**22歳** 衰退している商店街の活性化プロジェクト、名古屋高速道路のインターナンなどに参加。

**24歳** 安心・安全・快適に名古屋高速道路を利用していただけるよう、日々の仕事に取り組む。

貢献年

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



第一声で「キレイ!」と言われるときが、

一番うれしくて。



長沼桃花さん(1999年生まれ)

大同大学大同高校 出身  
中部美容専門学校 卒業

### Eye ELSA lash by nicott栄店

名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスピル2F  
<https://beauty.hotpepper.jp/kr/slInH000588682/>

なるためには

●必要資格 / 美容師免許  
●主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→国家試験に合格して美容師免許を取得→アイサロンに就職

### ー学生時代

好きないことならずつと続けることができる『気がして、料理か美容で迷いましたが、最終的に美容の専門学校に進学しようと思いました。仲いい先輩から言われた『中美は毎日課題があつて大変だけど技術が身につくよ』という言葉がきっかけで、中部美容専門学校に進学しました。私は自分に甘いところがあつたのでちょうどよかつたと思います』

### 専門時代について教えてください。

『中美はヘアをはじめ、着付け、ネイル、まつげエクステ(以下、まつエク)、メイクなどの授業があり、トータルに美容を学べる学校です。特にまつエクの授業が楽しくて、『アイリストになりたい!』と思うようになりました。ミニ単位の仕事で大変ですが、細かな作業が好きな自分に向いていると思いました。ワインディングやオールウェーブなど、美容師免許を取得するための国試科目の対策もあります。苦手なオールウェーブを夜遅くまで学校で練習したことでも思い出に残っています』

### ー仕事について

『卒業後は、まつエク専門のサロンに就職。同期よりもモデル期間が長くて、施術時間を縮めることに苦戦しました。1年ほど勤めて当店に転職。今は『まつエク』『まつげパーマ』眉毛の形を整える『アイブロウ』の施術をしています。エクステの長さカールによって目の印象はすぐ変わります。お客様の要望に合わせて提案することが大切です』

### ーやりがい

『私はまつエクが苦手で、必死に練習を頑張つてここまでくることができました。施術後の第一声で『キレイ!』とお客様に言っていただけると、エクステの付け方や揃い方などの細かな部分も褒めていただきながらできるようになりました』

### ー心がけていることは?

『施術中、お客様は目を閉じているので恐怖心があると思います。安心して施術を受けられるように『まぶたを触ります』『風を当てます』など、何をするのかすべてその都度お伝えしています。たとえお客様が寝てしまっていても、です。寝ているというのでは安心してもらえている証なのでうれしいですね。お客様から話してくださる場合は、話しながら施術をします。最初は施術をするだけで一杯一杯でしたが、今は楽しく話をしながらできるようになりました』



### ーメツセージ

「自分がやりたいと思ったことをするのが一番。少しでも興味があることをやつたほうが自分のためですよ。アイリストの仕事は、努力すればしっかりと技術が習得ができ、お客様をキレイにできるところが魅力です。国家資格である美容師免許が必須なので、まずは美容の専門学校で知識と技術を学ぶことから。美容と細かな作業が好きな方は、ぜひ来てください!」

「自分がやりたいと思ったことをするのが一番。少しでも興味があることをやつたほうが自分のためですよ。アイリストの仕事は、努力すればしっかりと技術が習得ができ、お客様をキレイにできるところが魅力です。国家資格である美容師免許が必須なので、まずは美容の専門学校で知識と技術を学ぶことから。美容と細かな作業が好きな方は、ぜひ来てください!」



18歳 高校卒業後、トータルビューティーを学ぶ中部美容専門学校に進学。

20歳 まつエク専門のサロンに就職。施術時間の短縮に苦戦する。

23歳 Eye ELSA lash by nicott栄店の店長を務める。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



仕事としてできるようになると  
自然と「やりたいこと」になる。

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→税理士事務所に所属→珈琲店の経理財務部に勤務→独立し、ブックカフェをオープン



中村恭平さん(1981年生まれ)

惟信高校出身

名古屋ビジュアルアーツ ミュージシャン学科卒業

### 株式会社Centre

名古屋市中区新栄2-1-9 雲竜フレックスビル東館1F  
<https://www.centre.nagoya/>

### —学生時代

「中学生のころ、あるバンドのドラマーに惹かれました。ドラムへの興味が高まり、雑誌を叩いてみたりビデオで足元を研究したりもしました。高校生になると、同じようにバンドをやりたい子が集まって練習部をつくることに。とにかく夢中でした。高校卒業後は、名古屋ビジュアルアーツに進学。いろんなバンドを組んで活動しましたが、24歳のころにやり切ったと感じ、自然と区切りがきました」

### —仕事について

「音楽一筋だったので、ほかにスキルがなく、最初はどうしたらいいのかわからなかつたです。ハロークで『簿記を勉強してみたら』と言われたのがきっかけで、当時アルバイトをしていた本屋で簿記の本を買って勉強を始めました。経理が楽しいのかはわからなかつたですが、会社に必要とされる仕事がしたいと思っていました。20代は税理士事務所に所属し、30代は珈琲店の経理財務部に勤務。経理にとってのお客様は社内の人です。感謝の気持ちを忘れず、社内サービス業だと思って働いていました。在職中に中小企業診断士の資格を取得して商売のことをより広く学び、経営にも興味をもつようになりました」

お店をオープンした経緯は?

「40代に入るときに、これまで培ってきた経理や経営の知識をいかして自分で価値のあるものをつくってみたくなり、ブックカフェもつようになりました」

### —やりがい

「お客様との関わり度合いが太くなっています。1人ひとりにいるので、いい時間を過ごしてもら



いたいです。運営側のやりがいは、スタッフの成長。それなくして、この仕事はありえないのです

### —メツセージ

「やりたいことなんて、なくともいいです。そんなのなくたって、仕事を楽しくすることや人の役に立つことはできます。あとからやりたることに変れば全然問題ないです。人の役に立つことのほうが大事です。人の役に立つことのほうが多いことは、就職活動をするときも、「この会社はどういう人の役に立っているんだろう」「社会にどういふう役に立っているんだろう」といふ視点に立つてみるといいですよ」

ありがとうございました。

18歳 音楽一筋。専門学校に入学し、ドラマーとしてバンド活動に励む。

36歳 中小企業診断士の資格を取得。商売のことにより興味をもつようになります。

39歳 ブックカフェ開業を決意する。事業計画書などの開業準備を進める。



経験年数

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



**ただ人材を採用するだけでなく、事業拡大など企業の成長もサポート。**



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→マーケティングや会計、流通について学ぶ→人材採用などをサポートする企業に就職→企画営業として勤務

**大原果歩** さん(1999年生まれ)

**名古屋市立名東高校** 出身  
**南山大学** 経営学部卒業

### 株式会社アドプランナー

名古屋市瑞穂区妙音通4-29  
<https://www.ap-net.co.jp/>

### ー学生時代ー

「高校が大好きだったので、学園祭や球技大会などの学校行事には全力で取り組むタイプでした。準備も楽しかったですね。たくさん遊びましたし、「青春時代を過ごしました!」って感じです。高校卒業後は、南山大学経営学部に進学しました」

**大学時代について教えてください。**

「マーケティングや会計のこと、流通について学びました。需要と供給の関係について学んだことなど、今の仕事でも役立っている知識も多いです。就職活動は、人材系の業界にしぼっておりました。2軸があり、ひとつは営業として無形商材を扱いたいということ。商品をただ販売するのではなく、お客様の話をたくさん聞いて、自分のアイデアを提案しながら一緒に作り上げたものを販売したいという思いが強かったです。もうひとつは、商談相手が企業の代表や人事の方が多いこと。1年目の新人でも、そういう方々と話をさせていただけるのは貴重な経験になると思いました」

### ー仕事についてー

「最初は先輩の営業に同行して提案の仕方などを学びます。先輩からは、「お客様の会社のことをもつと

深く知つたほうがいい」とよく言われました。ただお客様から求人条件を聞いて媒体に載せて完結させるのではなく、今後の展望も聞くことがとても重要です」

「企業が抱えている課題を解決する仕事内容を簡単に教えてください」

「お客様から、「理想の人が採用できたら」という話を聞いたときにやりがいを感じます。「今度はこういふります」

「お客様から、「理想の人が採用できたら」という話を聞いたときにやりがいを感じます。「今度はこういふります」

### ーメッセージー

「資格や専門知識はなくてもいいので、コミュニケーション力や好奇心をもっていることが重要です。たまに話をして終わるのはなく、「なんだろ?」と興味をもつたことを聞いていくことが大切です。高校時代私は比較的やりたいことをやめてしましましたが、それでもちょっとと難しいと思ってあきらめてしまったことがあります。今考えるとやめる必要なかつたなって…。みなさんは後悔のないよう興味をもつたことはすべて全力で取り組んではいいです!」

ありがとうございました。



18歳 学校行事などに全力で取り組み、楽しい青春時代を過ごす。

22歳 マーケティングや会計、流通について学ぶ。卒業後、アドプランナーに就職。

23歳 ただ人材を採用するだけでなく、企業の拡大や成長につながるサポートもおこなう。



貢献年

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



自分たちのやりたいことはずっと  
「世の中をかっこよくする」。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、休学→東京のMAKERS UNIVERSITYに入塾し、若手起業家の育成プログラムを1年間受講→株式会社Tailors創業

吉田泰翼さん(1999年生まれ)

愛知工業大学名電高校出身

### 株式会社Tailors

名古屋市千種区自由ヶ丘2-10-30  
<https://tailors.life/>

「Tailors」は「世の中を仕立てる」集団で、美しい暮らしを大切にするという会社の哲学を幅広い人たちに届ける入り口として「八〇吉」があります。千種区自由ヶ丘に最初の店舗をオープンした当時は、僕が21

歳で、高校生ながら転身して八百屋を経営する姿に憧れ、将来の起業に迷いはありませんでした。タイで知り合った経営者から言われた「遊び心のない人から遊び心のあるものは生まれない」という言葉で自分の仕事觀が大きく変わり、その意識は今でも大事にしています。起業当初は、ファッショングランドを立ち上げる計画でした。バリコレのお手伝いをしたときに、自分の強みを考え、事業を展開する必要があると感じ、八百屋の野菜を使って生活を豊かにするカレーのブランド「八〇吉」が誕生。名古屋で意気投合した遊び仲間の現役大学生5人でスタートしました

#### ー仕事について

「八〇吉」の誕生から、仲間の現役大学生5人でスタートしました。この仕事について、自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。

#### ーやりがい

「八〇吉」は「世の中を仕立てる」集団で、美しい暮らしを大切にするという会社の哲学を幅広い人たちに届ける入り口として「八〇吉」があります。千種区自由ヶ丘に最初の店舗をオープンした当時は、僕が21

歳で、高校生ながら転身して八百屋を経営する姿に憧れ、将来の起業に迷いはありませんでした。タイで知り合った経営者から言われた「遊び心のない人から遊び心のあるものは生まれない」という言葉で自分の仕事觀が大きく変わり、その意識は今でも大事にしています。起業当初は、ファッショングランドを立ち上げる計画でした。バリコレのお手伝いをしたときに、自分の強みを考え、事業を展開する必要があると感じ、八百屋の野菜を使って生活を豊かにするカレーのブランド「八〇吉」が誕生。名古屋で意気投合した遊び仲間の現役大学生5人でスタートしました

「八〇吉」の誕生から、仲間の現役大学生5人でスタートしました。この仕事について、自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。

#### ー学生時代

高校3年の夏までサッカー一筋。一流の卵が集まる環境はすごく刺激的で、競争意識のなかで「自分はどう生き残るのか?」を考える力が養われましたね。部活を引退した1週間後に、フランスで短期留学とインタビュー活動をおこない、南山大学国際教養学部のAO入試でその内容をプレゼンして入学しました

#### ー起業した経緯を教えてください。

20歳のときに株式会社「Tailors」を創業しました。幼少期に父が外資系銀行員から転身して八百屋を経営する姿に憧れ、将来の起業に迷いはありませんでした。タイで知り合った経営者から言われた「遊び心のない人から遊び心のあるものは生まれない」という言葉で自分の仕事觀が大きく変わり、その意識は今でも大事にしています。起業当初は、ファッショングランドを立ち上げる計画でした。バリコレのお手伝いをしたときに、自分の強みを考え、事業を展開する必要があると感じ、八百屋の野菜を使って生活を豊かにするカレーのブランド「八〇吉」が誕生。名古屋で意気投合した遊び仲間の現役大学生5人でスタートしました

「八〇吉」の誕生から、仲間の現役大学生5人でスタートしました。この仕事について、自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。自分たちのやりたいことはずっと「世の中をかっこよくする」。

「僕が以前言われた言葉のように、学生時代は遊んだ方がいいです。それは遊び 자체に意味があるのではなくて、「あなたの触れてこなかつたものに触れなさい」ということ。とにかく全部やつてみないとわからない。僕が皆さんの一番近くでミッドランドスクエアの期間限定出店やブランド価値を高める店舗展開にも挑戦しました」

「僕が以前言われた言葉のように、学生時代は遊んだ方がいいです。それは遊び 자체に意味があるのではなくて、「あなたの触れてこなかつたものに触れなさい」ということ。とにかく全部やつてみないとわからない。僕が皆さんの一一番近くでミッドランドスクエアの期間限定出店やブランド価値を高める店舗展開にも挑戦しました」

#### ーメッセージ

「僕が以前言われた言葉のように、学生時代は遊んだ方がいいです。それは遊び 자체に意味があるのではなくて、「あなたの触れてこなかつたものに触れなさい」ということ。とにかく全部やつてみないとわからない。僕が皆さんの一一番近くでミッドランドスクエアの期間限定出店やブランド価値を高める店舗展開にも挑戦しました」



監修  
中

18歳

▼

20歳

▼

23歳

経営者の道をめざして自分の方法論を一生懸命探し、行動と思考を重ねる。

会社を設立。同世代の仲間とともにカレースタンド「八〇吉」を1年後に開業。

今一番面白くてかっこいいものに夢中になり、ゼロイチを生み出し続ける。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ルに1ヶ月ずつホームステイをしながら外務省と領事館の方たちと生活しました。持参した三味線を演奏することで、海外の人たちに日本文化を知つてもらえることが本当にうれしかったことを覚えていました。この経験がきっかけで外交官という夢ができました。小学生のころの夢は外交官だったんですよ。外交官になり、三味線を使って日本文化を紹介しながら海外と日本をつなぐ仕事がしたいと思っていました。それが今では少しかたちを変え結果的に三味線を演奏することで海外と日本をつなぐことができるのもうれしいです。

**— ターニングポイント**  
「最初のターニングポイントはプロの演奏家として生きていこうと決めた18歳のとき。その次は23才

くらいのとき。20代になつて、若さという三味線奏者としての話題性がひとつなくなり、演奏オファーが減つてしまつた時期があります。そのときは、単純に演奏 자체も楽しくないと感じるようになつてきて……」

**— その挫折はどうのよつ乗り越えたのですか？**  
「僕が有名になる前から応援してくれる人、プロになった今も出演料を払つて演奏の場を用意してくれていて、プロにならんと心を決めて演奏の場を使つたおばあちゃんおじいちゃんたちが泣いてる光景に心よろこんでくれて……。その光景に心が動きだして、自分の音を求める人たちは届けたいと強く思つた」と語ります。

**— 演奏を通じて原点に立ち戻ることができるんですね。**  
「もうひとつのターニングポイントは、31歳のとき。病気を発症して死んでしまうことになりました。自分がワクワクすることだけを追求したいと思うようになりました。生きていくためにお金が必要ですが、アーティスト活動はお金のためだけやつているわけではありません。『ありのままの自分を表現する』と隣り合わせになり、もっと貪欲に生きたい」という初期衝動でずっと活動してきました。病気を機にその気持ちがより強くなりましたがね。やりたくないことに少しも時間を割きたくないですし、本当に自分がワクワクすることにしか取り組まないようになりました」

**— やりがい**  
「僕の出した音でお客さんたちが楽しむ姿を見られることがやりがいです。『ありのままの自分を表現し

た』と最後に言っています。なんとなくやるとか、やれていく風に見せることがかつこいいと思われがちですけど、夢に向かって一生懸命真っ直ぐに向き合つている人

**何事も一生懸命に向き合える人が一番かつこいい。**  
**夢に向かって努力した時間と熱い思いは裏切らない。**

——  
「僕が有名になる前から応援してくれる老人ホームがあるんです。その演奏会で、僕の演奏を聴いたおばあちゃんおじいちゃんたちが泣いてる光景に心が動きだして、自分の音を求める人たちは届けたいと強く思つた」と語ります。

「もうひとつのターニングポイントは、31歳のとき。病気を発症して死んでしまうことになりました。自分がワクワクすることだけを追求したいと思うようになりました。生きていくためにお金が必要ですが、アーティスト活動はお金のためだけやつているわけではありません。『ありのままの自分を表現する』と隣り合わせになり、もっと貪欲に生きたい」という初期衝動でずっと活動してきました。病気を機にその気持ちがより強くなりましたがね。やりたくないことに少しも時間を割きたくないですし、本当に自分がワクワクすることにしか取り組まないようになりました」

——  
「やりがい

——  
「僕の出した音でお客さんたちが楽しむ姿を見られることがやりがいです。『ありのままの自分を表現し

た』と最後に言っています。なんとなくやるとか、やれていく風に見せることがかつこいいと思われがちですけど、夢に向かって一生懸命真っ直ぐに向き合つている人が一番かつこいいですよ。もし夢が叶わなくとも、夢に向かって努力した時間と熱い思いは裏切れません。その経験をいかして、きっと違うことにチャレンジできると思います。僕のように、外交官という夢が違うかたちで果たせています。でもそれは、何かに一生懸命向き合つた人にしか見えない景色なんだと思います。みなさんには、ゼロをゼロのまま終わらすのではなく、何か残るモノを作るような生き方をしてほしいです。それが1になるか100になるかは自分次第ですよ！」

——  
「ありがとうございます！」



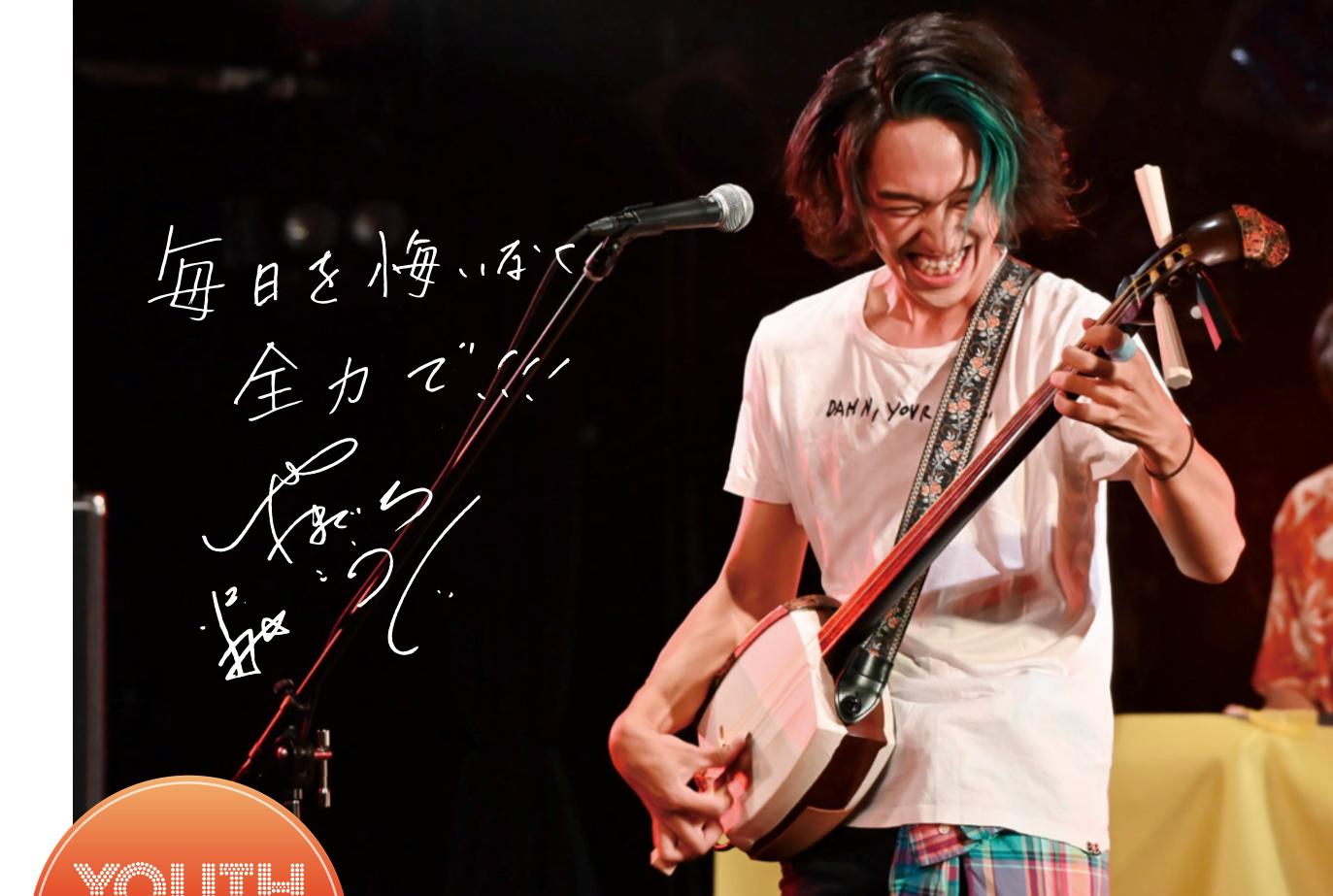
山口晃司  
さん(1989年生まれ)  
名古屋経済大学高蔵高校  
出身



18歳  
↓  
23歳  
↓  
33歳

高校の芸術鑑賞会で演奏をする機会があるので、そこでいつも学生たちに伝えるのは『何事も一生懸命真っ直ぐにやることを俺と約束しよう！』と最後に言っています。

なんとなくやるとか、やれていく風に見せることがかつこいいと思われがちですけど、夢に向かって一生



## 名古屋出身の有名人インタビュー

名古屋経済大学高蔵高校出身の三味線アーティスト、山口晃司さんを独占取材！

YOUTH  
ユースフラッシュ  
FLASH

**——三味線の世界へ**  
「三味線を始めたのは5才のときです。三味線の先生だった祖母に、「やつてみる？」と誘われたのがきっかけです。厳しい指導がつらく辞めたいと思ったことは何回もありました。三味線を始めてからは、挫折と成長の繰り返しですね。初めは軽い気持ちで始めた三味線でしたが、祖母の指導のおかげで全國コンクールでは優勝の連続。新聞やテレビなどのメディアでも紹介していましたが、若手三味線奏者として徐々に注目が集まつてきました。中学で三味線を弾いているのが珍しかったこともあり、日本全国いろいろな土地に行きました。ニューヨークやマレーシアなど海外からの演奏依頼もありましたよ。」

**プロの三味線奏者を志したタイミングはいつですか？**  
「プロの三味線アーティストとして生きていこうと決心したのは、高校3年生の卒業後の進路を決めるときです。進路を考えるなかで、「ありのままの自分を表現でき、自分らしくいられる仕事をしたい」と思つようになりました。そのなかで、ずつと取り組んでいた三味線演奏を通じるところを仕事にしてみたい」と思つようになりました。その後、やりたいことや自分の人間性に一番通じると思ったんです。」

**——学生時代**  
「よく遊び、たまに学び(笑)、音楽を心から愛し楽しんでいた高校生活です。当時聴いていたのは、ハードロック、メタル、ダンスミュージックなど幅広いジャンル。同世代に三

味線や音楽活動をしている人はほとんどいませんでしたが、音楽好きの友達と好きな音楽をよく共有していました。高校卒業後の進路は？

「現在プロとして演奏活動を始めています。演奏スタイルもボップ調。いろいろな人たちに音楽を届けています。演奏スタイルはボップ調。いろいろな人たちは音楽を届けたいという思いで、トライアンドワークを繰り返しています。考え方も変化てきて、10代は自分のために生き生きとしていましたが、20代いろいろな出会いがあり、誰かのために生きたい」という思いで、20代でいろいろなことを経験してきました。でも誰かを満たすことは自分が満たされないので、やがて自分の人生に生きられないでいることがあります。今は誰かのために自分のありのままを表現した音を届けるようにしています。演奏スタイルもマインドも一生変わりつづけるでしょうね」

**——アーティストとして**  
「小学生のときに外務省のプロジェクトに参加し、アメリカとシンガポーリーに参加して、アーティストとして演奏活動の原動力とは？」

「三味線以外の音楽や楽器のことを知りたいと思い、もっと広域な音楽カルチャーにふれるために芸術大学に進学しました。エレキギターとドラムを専攻して学んでいたのですが、高校卒業後に本格的な演奏活動を始めたこともあり、大学に通えなくなるくらい多忙になつてしまつたんです……。ありがたいことなんですけどね。大学は、自主退学することになりました」

旅行を終えて帰り際にいただく  
「ありがとう」の一言がやりがい。

なるためには



- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業一観光バスを運営する企業に就職→研修を受け、バスガイドとして勤務

田宮怜奈さん(2001年生まれ)

惟信高校出身

### 名鉄観光バス株式会社

名古屋市中川区西日置2-3-5名鉄交通ビル7F  
<https://www.meitetsu-kankobus.co.jp/>

### —学生時代

「文化祭や体育祭などの学校行事が記憶に残っています。夏休みも学校に行ってみんなで準備をしていました。準備は大変でしたけど、そのぶん楽しかった思い出が多いです。当時は特に将来の目標がなかったので、とりあえず家を出て働くこと思い、寮制度が整っている名鉄観光バスに就職しました。もともと旅行が好きということもありましたし、バスガイドのキラキラしたイメージにも惹かれました」

### —仕事について

「入社後まずは言葉づかい、地理や歴史の勉強など、バスガイドとして働くうえで必要な基礎を学びます。ちょうど私はコロナの時期に入社をしたので、ガイド教習を行けなかつたりと、なかなか初等教育が進まずに大変でした。高校生活と社会人とのギャップに心が折れそうなどきもありましたが、同期がいたから一緒に頑張ることができたと思います。寮生活を通して同期との仲も深まりました」

### 最初のガイドを覚えていますか？

「名鉄観光バスが企画するドラゴンズパックツアーで、シャインマスカット狩りに行きました。初めてひとりでガイドをしたときは、お客様をお迎えするところからすごく緊張したこと覚えています。教習ノートや旅行コースを事前にしっかり確認し、話すことを考えてツアーデ当日を迎えたのですが何を話したのかは記憶ないです：（笑）すね」

「旅行に行く回数が多い人も少ない人もいますが、どちらにしろ、みなさんの貴重な時間を預かってバスに乗つてもらっています。できる限り楽しく過ごせる工夫を心がけています。笑顔はもちろん絶やさないようになりますし、声のトーンやボリューム、間の置き方もお客様の年代や話す内容によって変化をつけるようにしています」

心がけていることは？

「お客様の旅行がより充実した楽しいものになるようにお手伝いする仕事です。旅行って、移動中も楽しむのがいい思い出になりますよね。私たちガイドのおすすめのお店や観光スポットを紹介することで、楽しい体験をお客様に楽しんでもらえたらと思っています」

仕事内容を簡単に教えてください。



### —メッセージ

「もっと成長してガイド中の話の内容が豊かになるよう、プライベートで先輩ガイドのバスに乗つて勉強をしています。今後は、観光のことだけでなく、接客についても学んでいきたいです。高校時代は、今の状況が当たり前だと思わないこと。今まで、何をするにも保護者や先生など、当たり前のように支えてくれる人がいました。社会に出ると、すべての責任が自分にかかるべきです。支えてくれている人たちへの感謝を忘れずに、楽しい高校生活を送つてください！」

ありがとうございました。



18歳

体育祭や文化祭に精を出す。高校卒業後、名鉄観光バスに就職。

19歳

コロナ禍でおこなわれた初等教育。同期と励ましあいながら学びを深める。

23歳

旅行中のガイドを通して、お客様の楽しい思い出づくりをお手伝いする。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



0から1のアイデアで、お客様の課題を解決する。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→広告サービスを展開する企業に就職→営業部に配属

五島稜大さん(1997年生まれ)

愛知工業大学名電高校出身  
南山大学 総合政策学部卒業

### 株式会社中日アド企画

名古屋市中区三の丸1-6-1  
<https://www.chunichi-adnet.co.jp/>

生徒会の活動に力を入れていた高校生活です。文化祭や体育祭など学校行事の運営では、生徒と教職員の統括から文化委員会の人員配置、当日の問題の対応までおこないました。弊社にはイベント制作の仕事もあるので、今の仕事の原点になつていると思います」

### ——やりがい

「お客様からの感謝の声を制作チームと共有できたときが一番うれしいですね。時には意見がぶつかることもありますが、一緒によろこべる

ビーラジオなど、世の中にある様々なメディアを駆使して、お客様の課題を0から1のアイデアで解決していく。世の中には面白いものを作りたい。たとえば、お客様から『商品を売り出したい』という相談がくるとします。ターゲット層に対しどのようにメディアを活用するのか、イベントを開催するのか、季節やスケジュール、ビジュアルなどを考慮しながらターゲットに刺さるアプリケーションを考えています」

「お客様とのコミュニケーションはもちろんです。社内コミュニケーションも怠らず、先輩後輩と情報共有をしながら、いい関係で仕事ができるように心がけています。そのなかで、『コレとコレを組み合わせたら、きっといいものができる!』と、新しいビジョンが見えてくることがあります」

「18歳 生徒会の活動を通して、イベント運営の経験を積む。  
22歳 管弦楽団でバイオリンを演奏しながら広報スタッフを経験。4年次にはコンマスを任される。  
25歳 世の中にある様々なメディアを駆使し、お客様の課題を解決する。」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



### ——学生時代

瞬間に『やり遂げた!』という達成感を得られます



「生徒会の活動に力を入れていた高校生活です。文化祭や体育祭など学校行事の運営では、生徒と教職員の統括から文化委員会の人員配置、当日の問題の対応までおこないました。弊社にはイベント制作の仕事もあるので、今の仕事の原点になつていると思います」

### ——やりがい

「お客様からの感謝の声を制作チームと共有できたときが一番うれしいですね。時には意見がぶつかることもありますが、一緒によろこべる

ビーラジオなど、世の中にある様々なメディアを駆使して、お客様の課題を解決していく。世の中には面白いものを作りたい。たとえば、お客様から『商品を売り出したい』という相談がくるとします。ターゲット層に対しどのようにメディアを活用するのか、イベントを開催するのか、季節やスケジュール、ビジュアルなどを考慮しながらターゲットに刺さるアプリケーションを考えています」

「お客様とのコミュニケーションはもちろんです。社内コミュニケーションも怠らず、先輩後輩と情報共有をしながら、いい関係で仕事ができるように心がけています。そのなかで、『コレとコレを組み合わせたら、きっといいものができる!』と、新しいビジョンが見えてくることがあります」

「18歳 生徒会の活動を通して、イベント運営の経験を積む。  
22歳 管弦楽団でバイオリンを演奏しながら広報スタッフを経験。4年次にはコンマスを任される。  
25歳 世の中にある様々なメディアを駆使し、お客様の課題を解決する。」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「生徒会の活動に力を入れていた高校生活です。文化祭や体育祭など学校行事の運営では、生徒と教職員の統括から文化委員会の人員配置、当日の問題の対応までおこないました。弊社にはイベント制作の仕事もあるので、今の仕事の原点になつていると思います」

### ——やりがい

「お客様からの感謝の声を制作チームと共有できたときが一番うれしいですね。時には意見がぶつかることもありますが、一緒によろこべる

ビーラジオなど、世の中にある様々なメディアを駆使して、お客様の課題を解決していく。世の中には面白いものを作りたい。たとえば、お客様から『商品を売り出したい』という相談がくるとします。ターゲット層に対しどのようにメディアを活用するのか、イベントを開催するのか、季節やスケジュール、ビジュアルなどを考慮しながらターゲットに刺さるアプリケーションを考えています」

「お客様とのコミュニケーションはもちろんです。社内コミュニケーションも怠らず、先輩後輩と情報共有をしながら、いい関係で仕事ができるように心がけています。そのなかで、『コレとコレを組み合わせたら、きっといいものができる!』と、新しいビジョンが見えてくることがあります」

「18歳 生徒会の活動を通して、イベント運営の経験を積む。  
22歳 管弦楽団でバイオリンを演奏しながら広報スタッフを経験。4年次にはコンマスを任される。  
25歳 世の中にある様々なメディアを駆使し、お客様の課題を解決する。」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「生徒会の活動に力を入れていた高校生活です。文化祭や体育祭など学校行事の運営では、生徒と教職員の統括から文化委員会の人員配置、当日の問題の対応までおこないました。弊社にはイベント制作の仕事もあるので、今の仕事の原点になつていると思います」

### ——やりがい

「お客様からの感謝の声を制作チームと共有できたときが一番うれしいですね。時には意見がぶつかることもありますが、一緒によろこべる

ビーラジオなど、世の中にある様々なメディアを駆使して、お客様の課題を解決していく。世の中には面白いものを作りたい。たとえば、お客様から『商品を売り出したい』という相談がくるとします。ターゲット層に対しどのようにメディアを活用するのか、イベントを開催するのか、季節やスケジュール、ビジュアルなどを考慮しながらターゲットに刺さるアプリケーションを考えています」

「お客様とのコミュニケーションはもちろんです。社内コミュニケーションも怠らず、先輩後輩と情報共有をしながら、いい関係で仕事ができるように心がけています。そのなかで、『コレとコレを組み合わせたら、きっといいものができる!』と、新しいビジョンが見えてくることがあります」

「18歳 生徒会の活動を通して、イベント運営の経験を積む。  
22歳 管弦楽団でバイオリンを演奏しながら広報スタッフを経験。4年次にはコンマスを任される。  
25歳 世の中にある様々なメディアを駆使し、お客様の課題を解決する。」

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



テーマは「幸せって何だろう」。  
幸せの価値観をアップデートしたい。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→正看護師免許を取得→世界2周70ヶ国→ウェルビーイングスクールを創業

喜多桜子さん(1986年生まれ)

昭和高校出身  
瀬戸旭看護専門学校卒業

ウェルビーイングスクールFOLKE(フォルケ)

<https://sakurakokita.com/>

――**学生時代**  
「本を読むことが好きで、特に世界の偉人シリーズが好きでした。人にこんなにも愛を与えて生きている人がいるんだと感銘を受けたのがマザーテレサ。看護師とマザーテレサがリンクしたことと、職業体験が楽しかったこともあって、看護師をめざしました。専門学校には同じ目標に向かう子が集まり、切磋琢磨できてよかったです」

### ――**仕事について**

「看護師をしていると患者さんから人生の本質にぶれることが多いです。何を大切に生きたら後悔のない人生を生きられるのだろう?」と、幸せについて考えるようになります。これが起業の原点です。答えを見出すには世界幸福度ランキングが低い日本から出て、もっと広い視野で探求したいなど。日本は自分が選択した人生を生きていると、いう感覚をもてない人が多く、それがすごく重要な課題だと思いました。そこで、世界の価値観を知るために世界一周をしました」

**世界各国を回って感じたことは?**

「本当の豊かさは、物質的なものではなく心の内側からくるものだと感じ、自分らしく生き、自分で何かをやってみたいという気持ちが強くなりました。そんなときに知ったのが『ウェルビーイング』という概念。ウェルビーイングとは、持続的に心地よい状態と捉えているのですが、まさに私が大事にしたいことだと感じ、昨年、夫とウェルビーイ

**仕事内容を簡単に教えてください。**  
「働く人の幸福度向上を目的とした、マネジメント研修やリーダー研修などの企業研修、幅広いサービスを展開しています。その中で注力しているのが、『FOLKE』という人



生のための学校の運営、学校と聞くと、スキルを身につけるイメージがあると思いますが違います。『本当にこうしたい』といった内側に秘めた感情と向き合い、本来の自分と出会う場所です。ポジティビズム、心理学をベースに理論を学びながら、対話を通して受講生と一緒にそれぞれの脳に落ちるところを探求します」

### ――**やりがい**

「受講生のみなさんから、『これが本当の人生の楽しさや喜びなんだ』という声が多くてうれしいです。頭でわかっていても体験できない意味がないので、心で感覺を掴んでもらえるようなカリキュラムづくりを心がけています。これが自分らしさなんだ」が脳に落ちると人生が楽しく味わい深くなります。みなさんが『誰か』でなく『本来の自分』を生き始める姿は、とてもキラキラし

「私たちちは幸せになるために生きています。肩書きをつけることや評価されることは、あくまで幸せに生きる手段でしかありません。本当はどう生きたいのかを実験してみる」と思っています。心の声を信じて、自身の選択に意志と愛をもつてください。誰かのためではなく、自分が幸せになるための選択をしてほしいです。その意志が、人生になるから」

### ――**メッセージ**



18歳 高校卒業後、看護師をめざして専門学校に進学。  
↓  
24歳 パックパッカーになる。1年間で世界一周を経験する。  
↓  
36歳 ウェルビーイングスクール「FOLKE」を創業。夫婦で運営している。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様の要望に合わせた提案をおこなう。  
自分のスタイルを磨き、



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→セキュリティサービスを展開する企業に就職→営業

安藤愛斗さん (1997年生まれ)

至学館高校 出身  
名古屋学院大学 商学部卒業

### 綜合警備保障株式会社(ALSOK)

名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル6F  
<https://www.alsok.co.jp/>

### ー学生時代ー

高校時代は陸上部に所属していました。3年生のときにはキャプテンを務めました。後輩の指導やサポートをするなど、チームをまとめるなかで責任感を育むことができたと思います。個人としては、100m走の選手として県大会で上位に入ることができ、大きな自信を持つこともできました。悔いのない高校生生活を送ることができたと思います。

人とコミュニケーションをとることが好きだったので、将来は営業や企画を考える仕事に就きたいと思いました」

「簿記を学んで数字に強くなつたので、営業職として大きな強みになつていると感じます。大学時代の思い出は、2年次にオーストラリアへ短期留学に行つたこと。留学を通して、積極的にコミュニケーションをとれるようになったと思います。名古屋学院大学は留学に行くことで単位が貢えることもあり、留学サポートがしっかりとしているので安心して行くことができました。学生時代に留学を経験して視野を広げることができてよかったです。大学卒業後は、ホームセキュリティやオフィスセキュリティ、情報セキュリティなどの防犯サービスを展開する綜合警備保障株式会社(ALSOK)に就職しました」

私は営業部に所属し、主にホームセキュリティのサービスを提供するなど、新しい取り組みもおこなっています。新しい仕事について

「大学時代について教えてください」と聞きました。「簿記を学んで数字に強くなつたので、営業職として大きな強みになつていると感じます。大学時代の思い出は、2年次にオーストラリアへ短期留学に行つたこと。留学を通して、積極的にコミュニケーションをとれるようになったと思います。名古屋学院大学は留学に行くことで単位が貢えることもあり、留学サポートがしっかりとしているので安心して行くことができました。学生時代に留学を経験して視野を広げることができてよかったです。大学卒業後は、ホームセキュリティやオフィスセキュリティ、情報セキュリティなどの防犯サービスを展開する綜合警備保障株式会社(ALSOK)に就職しました」



いサービスを、飛び込みで営業したお客様に契約していただけたときも、うれしいです」

### ーメッセージー

「自分が将来どんな人間になりたいかをイメージしてほしいです。目標や将来像をもつことで自分の進歩べき道が見えてくると思います。特に今は、コロナや景気の低迷など漠然とした不安を抱いている学生に、将来像をもつことで自分の進歩目標や将来像をもつことで自分の進歩

「ありがとうございます」

「意識していることは優先順位を決めることです。年数を重ねるとできる仕事が増えていきます。そのなかで効率よく仕事をこなすには時間やタスク管理が大切になります。意識することや営業スタイルは人によって違うので、自分のスタイルを見つけて磨いていくことが成績につながると思います」

### ーやりがいー

「セキュリティといつても色々な要望がありますので、お客様に合わせた提案をおこなうことが大切です。提案に納得いただき、契約を結べたときが一番やりがいを感じます。ALSOKといえばセキュリティのイメージが強いと思いますが、最近は、セキュリティシステムの構築で培った強みをいかして法人向けに勤怠管理システムをセットにしてサービスを提供するなど、新しい



18歳

陸上部に所属し、キャプテンを務める。部活を通して責任感を育む。

22歳

大学卒業後、綜合警備保障株式会社に入社。営業部に所属。

25歳

自分なりの営業スタイルを磨き、日々の仕事に奮闘中。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様から「児玉君に任せると、信頼していただけることがやりがい。」



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→海外で積極的に発信することの大切さを学ぶ→自動車販売店に就職

児玉龍樹さん(1993年生まれ)

名古屋経済大学高蔵高校 出身  
愛知学院大学 総合政策学部卒業

### 愛知ダイハツ株式会社

名古屋市中区千代田3-2-5  
<https://www.daihatsu-aichi.co.jp/>

「大学時代に力を入れていたのは、部活動の軟式テニスです。テニスは初心者で、技術的についていくことが大変なときもありましたが、とにかく練習はしっかりと真面目に取り組んでいました。そんな姿勢が評価されたのか、3年生のときにキャブテンを任せていただきました。人の上に立つという慣れない役割でしたが、チーム全体のことを考え、勇気をもって発言することでしっかりと役割を果たすことができたと思います。高校卒業後、愛知学院大学に進学しました」

#### ――仕事について――

「大学卒業後、愛知ダイハツ株式会社に就職しました。この仕事を、お客様に自動車の正確な情報を伝えられることが大切。1年目は、車種ごと

「大学の講義で印象に残っているのは、災害対策用のハザードマップを作成したことです。街に出て地域の方たちとふれあいながら制作する過程は刺激的でしたし、コミュニケーション力が身についたと思います。ハイイとオーストラリアへ行った体験も忘れられない思い出です。英語が苦手で、うまく話すことができませんでしたが、言語の壁があつても伝えようと自ら発信していくれば、理解してもらえることが多かったです。伝わらないからあきらめるのではなく、自分から積極的に発信していくことの大切さを知ることができました」

「やりがいについては、「やりがいにつながっているのは、お客様と信頼関係を築くことができたときの達成感と、頑張って結果を残せばそれが反映される営業の評価システムの2つです。私を信頼していただき、お客様から『児玉君に任せると、点検や保険なども任せていただけるのは本当にうれしいですね』

#### ――やりがい――

「やりがいにつながっているのは、お客様との会話を通して、ライフスタイルや家族構成、通勤で使うのかなどの用途、荷物を積むための広さを重視するのか燃費を重視するのかなどを聞いていきます。その情報をもとに、お客様のニーズにピッタリな自動車を提案します」

「この車がほしい!」と決めてお店に来てくださるお客様もいますが、そこまで具体的に決めていないお客様も多いです。その場合は、お客様との会話を通して、ライフスタイルや家族構成、通勤で使うのかなどの用途、荷物を積むための広さを重視するのか燃費を重視するのかなどを聞いていきます。その情報をもとに、お客様のニーズにピッタリな自動車を提案します」

「この車がほしい!」と決めてお店に来てくださるお客様もいますが、そこまで具体的に決めていないお客様も多いです。その場合は、お客様との会話を通して、ライフスタイルや家族構成、通勤で使うのかなどの用途、荷物を積むための広さを重視するのか燃費を重視するのかなどを聞いていきます。その情報をもとに、お客様のニーズにピッタリな自動車を提案します」



#### ――学生時代――

#### ――メッセージ――

「新人のころは右も左もわからず、ミスをして落ち込むこともあります。でも、『自分はまだ成長途中で次はもっとよくする』と自分を鼓舞していろいろなことに取り組み、成長することができたと思います。みなさんも、コロナの影響で遊びも学業も十分にできていないかもしれません。ですが、笑顔も同じくらい大切。常に笑顔で、お客様と気持ちのいいコミュニケーションをとることも強していました。車の知識はもちろんですが、笑顔も同じくらい大切。自分が工夫して自身を成長させることができます。私のおすすめは、やっぱり海外に行つてみることですね」



18歳

部活に熱中した高校時代。3年生のときはキャブテンを任される。

↓  
22歳

愛知学院大学に進学。様々な経験を通して、コミュニケーション力を磨く。

↓  
29歳

常に笑顔を忘れず、お客様のライフスタイルに合わせて自動車を提案。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

